

はじめに

皆さん、こんにちは！岩手県医療局職員課人事担当です。
県立病院で働く職員を紹介する「キャリアアップ通信」の第10号が完成しました。
今号では感染管理認定看護師と外来がん治療認定薬剤師の2名を紹介します。
ぜひ今後のキャリアアップの参考にしてください！

認定看護師への道

(感染管理など18分野98名在籍)

特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる看護職員を養成しています！

【対象者】

- 看護師経験が概ね5年以上（うち認定看護分野での実務3年以上）で40歳以下の看護職員

※対象に該当しない場合も資格取得に強い意欲がある方は応募可能です！
(医療局での選考後、派遣機関の入学試験合格をもって正式決定)

【サービスの取り扱い】

- 派遣中は出張の取り扱いとし、旅費等を支給
- 派遣中も給与を支給
- 入学試験及び修了試験等に出席するための旅費、審査料を支給

【認定看護分野】※制度改正後の分野

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ・クリティカルケア | ・生殖看護 | ・認知症看護 |
| ・緩和ケア | ・新生児集中ケア | ・脳卒中看護 |
| ・皮膚排泄ケア | ・腎不全看護 | ・がん放射線療法看護 |
| ・がん薬物療法看護 | ・手術看護 | ・呼吸器疾患看護 |
| ・在宅ケア | ・乳がん看護 | ・心不全看護 |
| ・感染管理 | ・摂食嚥下障害看護 | |
| ・糖尿病看護 | ・小児プライマリケア | |

令和5年度認定看護師教育専門課程派遣の応募期限は令和4年7月15日（金）
となっておりますので、詳細はデスクネットのインフォメーションからご覧ください！

認定薬剤師への道

高い専門性が求められる特定領域の認定薬剤師を養成しています！

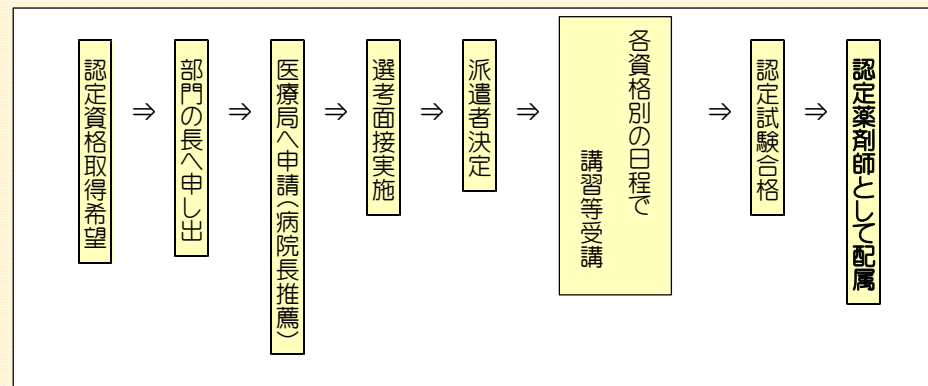
【対象】

- 特定領域の認定資格取得を志す薬剤師から選考

【サービスの取り扱い】

- 講義研修及び認定申請に必要な講習会の受講や認定試験受験のための旅費支給
- 研修、講習会等参加費、認定試験受験料、認定審査料及び認定料は医療局負担

【取得までの流れ】



【派遣（養成）対象の認定薬剤師】※括弧内はR4.6.1現在取得者数

- ①がん領域
 - ・がん薬物療法認定薬剤師(8)
 - ・外来がん治療認定薬剤師(3)
- ②感染制御領域
 - ・感染制御認定薬剤師(5)
 - ・抗菌化学療法認定薬剤師(3)
- ③緩和医療領域
 - ・緩和薬物療法認定薬剤師(2)

令和4年度認定薬剤師養成研修等派遣の応募期限は令和4年7月15日（金）
となっておりますので、詳細はデスクネットのインフォメーションからご覧ください！

岩手県医療局ホームページにバックナンバーを掲載していますので
そちらもぜひご覧ください

【岩手県医療局職員課人事担当 ☎019-629-6861】

私が岩手県立病院を選んだ7つの理由 ☆YouTubeで絶賛公開中

岩手県立病院 検索



7つの理由 ショートドラマ

感染管理認定看護師

中央病院 看護部 主任看護師

 菊地 努 さん
Q 資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。

前所属(二戸病院)の病棟で勤務していた頃、リンクナース(各部署において、業務を行いながら感染管理者あるいはICTと協力して感染対策や情報の収集を行う看護師)として活動していたときに、感染対策に関する自部署での問題や課題を解決していく中で、もっと専門的な知識・技術を身に付けたいと思ったことがきっかけです。

Q 資格取得に向けた勉強や研修中の様子を教えてください。

当時連携施設である久慈病院の感染管理認定看護師の先輩方からご指導を頂き、東京都清瀬市にある日本看護協会看護研修学校の受験に臨み合格し、1年間の研修期間を経て資格を取得しました。講義の他、東京都内の病院での実習において、顕微鏡を使った演習や院内外における感染対策の実践も学びました。

全国から集まってきた仲間とディスカッションを重ね、切磋琢磨し合いながら研修期間を過ごしました。

Q 現在の活動状況を教えてください。

前所属においては専従の感染管理認定看護師として勤務しておりましたが、令和4年度から中央病院に勤務しており、救急センターER病棟に所属しながら専任看護師として活動をスタートしています。まだ不慣れではありますが、専従の感染管理認定看護師の方と協働し、いまだ猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症をはじめとした院内の感染防止対策の推進を行い、中央病院に貢献していきたいと考えています。また、地域での活動については、いわて感染制御支援チーム(ICAT)に所属しており、現在は県内各地の高齢者施設等でのクラスター対応にも参加しています。

Q 資格取得で業務に役立っていることや、仕事のやりがいなどについて教えてください。

様々な現場において感染対策は必須ですので、現場の状況に応じた対応はどうあるべきか考えながら行動しています。感染対策等に関するスタッフの疑問、不安に対するコンサルテーションを受け、納得して頂いた上で、不安なくスタッフそれぞれが専門性を発揮して頂けることがやりがいです。ある意味裏方もしませんが、役割だと思っています。

Q これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします。

感染対策の充実、職員の働きやすい職場の実現に繋がっていくきっかけになると考えています。感染対策は患者さん、職員など病院に関わる人を感染から守る事です。現在コロナ禍において大変な事もありますが、やりがいがあります。興味のある方はぜひ目指して欲しいと思います。

また、4月より看護管理の学びを深めたいという思いから岩手県立大学看護学研究科に通学しています。岩手県立病院ではキャリアアップのための支援体制が整備されておりますので、働きながらも自分の目標を達成しつつ、一緒に患者さんのため、病院のために貢献していきましょう。



外来がん治療認定薬剤師

中央病院 薬剤部 主任薬剤師



西村 忠晃 さん

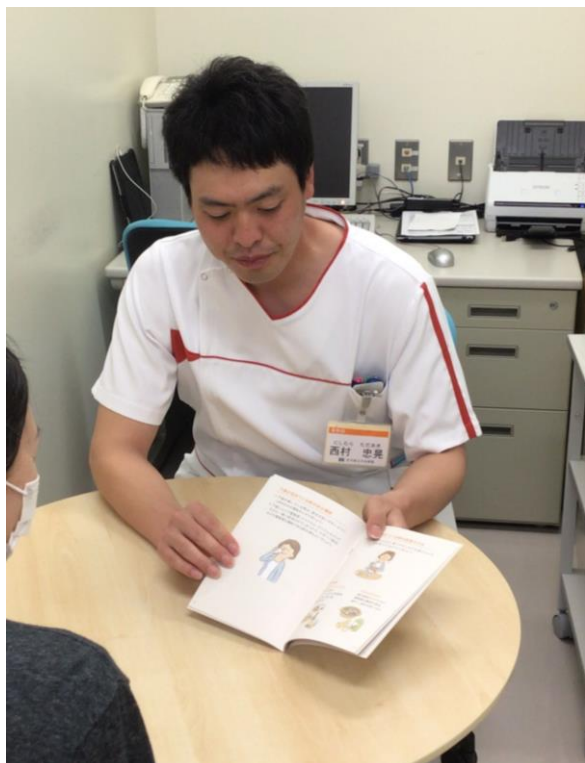
Q 資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。

元々、がん分野と感染分野に興味があり、認定資格について少しずつ調べ始めていた折、がんに関する新しい学会が発足し、認定資格も創設されたことを上司より教えてもらったことがきっかけです。そこから、本格的に認定取得に対して動き始めました。

Q 資格取得に向けた勉強や研修の様子を教えてください。

日本臨床腫瘍薬学会の学術大会や各種セミナー等に参加しつつ、臨床腫瘍薬学等の書籍を用いて勉強しました。

当時の職場に、がん薬物療法認定薬剤師が1~2名在籍しており、様々なアドバイスをいただいたり、学会と一緒に参加することで色々楽しみながら学ぶことができました。

Q 現在の勤務状況について教えてください。

基本的に午前中は抗悪性腫瘍薬の混注業務や外来患者指導、薬剤師外来等の業務を行っています。
午後は、病棟担当者として担当病棟における患者指導や配薬業務等を行っています。

Q 資格取得で業務に役立っていることや、仕事のやりがいなどについて教えてください。

役立っていることは、いままで行っていた同様の業務に診療報酬が新設されたことです。やりがいを感じることは、薬剤師外来等を通して、患者さんの支持療法提案により深く関わることができていることなどです。

Q これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします。

国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなるといわれる時代において、今後ますますがん医療の分野は発展していくと思います。新薬も毎年何種類も開発され、今後認定試験の範囲は広がり続け、資格取得の難易度は上がっていくでしょう。

しかし、資格取得が大変な分、診療報酬に直結する業務に携わることができたり、患者さんのQOLの改善に直接寄与できる機会が多かったりと大きなやりがいを感じることができます。

外来がん治療認定薬剤師の資格を取得し、一緒によりよい外来がん治療の提供に貢献していきましょう！